

# 令和4年度の事業進捗のお知らせ

## 栗ノ木道路・紫竹山道路 (栗ノ木橋交差点～紫竹山IC)

### ■ 主な工事箇所



### ① 栗ノ木バイパス 馬越交差点～紫竹山IC間の道路切替え

- 立体道路の整備に向けて、令和4年10月から順次道路の切替えを行いました。
- 上り線では、令和5年内に<sup>あぶみ</sup> 笠交差点～<sup>ささごえばし</sup> 笹越橋交差点間を新潟駅側に切替える予定です。日程は決まり次第、お知らせします。

A (令和4年8月30日撮影)



A (令和5年1月19日撮影)



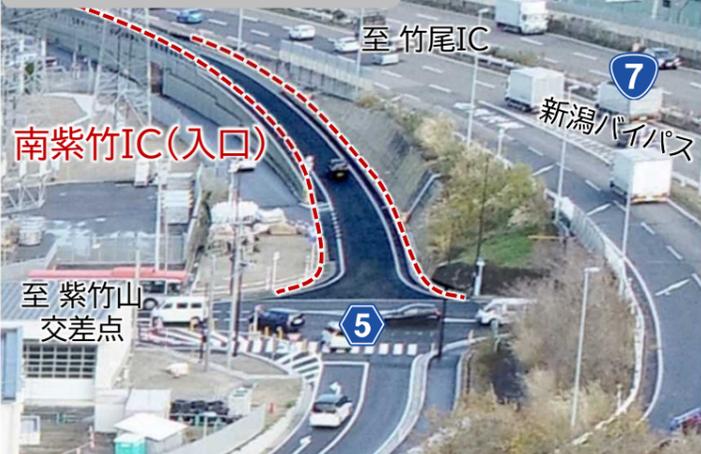
### ② 南紫竹IC(入口)の開通

- 令和4年11月2日に開通しました。
- 紫鳥線から新潟バイパスへは、紫竹山交差点を直進してアクセスできるようになり、紫鳥線の混雑は緩和しています。

### ③ 立体道路の橋脚整備

- 立体道路の橋脚全83基のうち、新たに9基の整備に着手しました。
- 令和4年度までに5基が完成しています。

B (令和4年12月9日撮影)



C (令和5年1月12日撮影)



国道7号 沼垂・栗ノ木・紫竹山道路  
かわら版  
くりのき通信

第99号

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局  
新潟国道事務所  
計画課・用地第一課・工務第一課  
TEL(025)244-2159(代表)  
〒950-0912  
新潟市中央区南笹口2-1-65

新潟市土木部 道路計画課  
TEL(025)226-3041(直通)  
〒951-8550  
新潟市中央区学校町通  
1番町602番地1

「沼垂道路・栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口」開設中！  
開設時間：毎週木曜日10時～17時  
(年末年始・祝日は除きます)  
場所：新潟国道事務所1F  
(管理第一課機)

過去のくりのき通信、最新の交通状況はこちら！

新潟国道事務所  
ホームページ  
万代島ルート線  
専用ページ

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/now/shichiku-kurinoki.html>

新潟国道事務所  
公式Twitter  
みちなびにいがた

[https://twitter.com/mlit\\_niikoku\\_SS](https://twitter.com/mlit_niikoku_SS)

ぬ っ た り  
沼垂道路 (柳都大橋～栗ノ木橋交差点)

事業説明会を開催(令和4年9月)

- 沼垂道路事業沿線の31自治会を対象に、**全体計画の説明や現地測量などの今後のスケジュール**について説明会を実施しました。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1回あたりの規模を縮小し、令和4年9月6日～25日の計10日間(全11回)に分けて開催しました。
- 説明会での主なご質問と回答等は以下をご覧ください。



沼垂地区会場の様子(沼垂荘)

測量作業を実施(令和4年12月～)

- 令和4年12月から設計の基礎資料を得るための、測量作業を実施しています。
- 民地に立ち入る際は、作業内容について、各関係者に個別に説明させていただいております。
- 一部地域については、**令和5年4月以降も民地への立ち入り作業が継続します**。引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。



現地測量の様子

沼垂道路事業説明会での主なQ&A

Q1. 平成4年の都市計画に変更は無いのか？ 計画線はどこで確認できるのか？

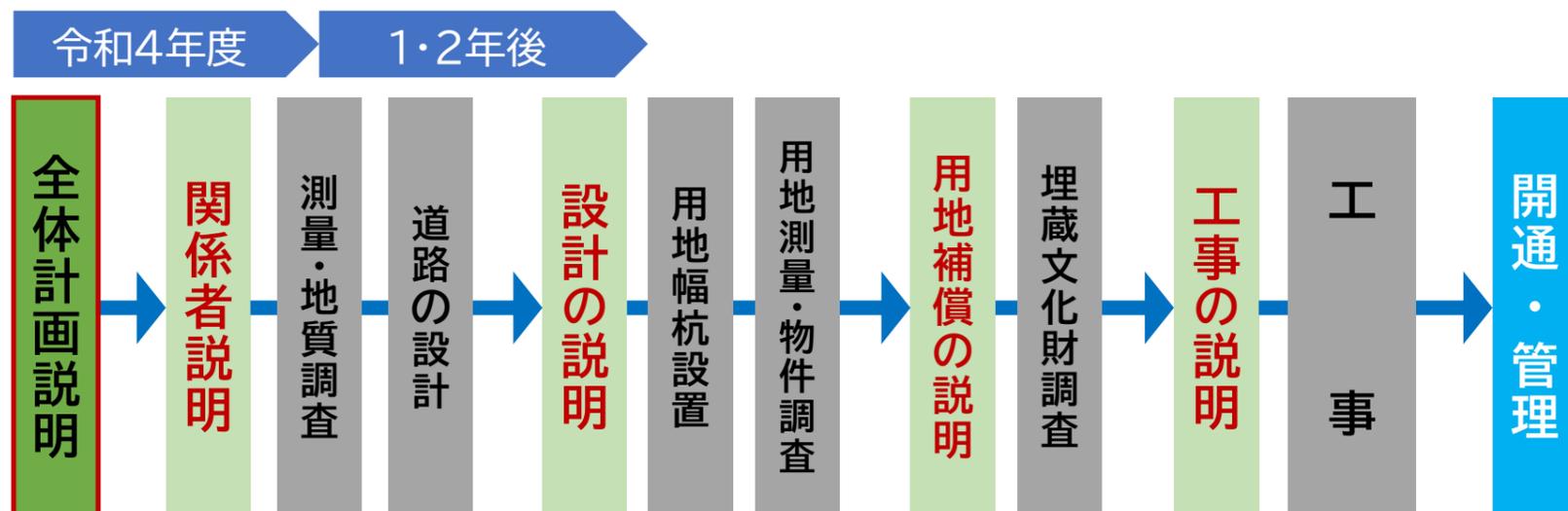
- A. 万代島ルート線に関する都市計画は、**平成4年の決定から変更はありません**。  
都市計画図は**中央区建設課や「にいがたeマップ(都市計画情報)」**でご確認いただけます。  
ただし、計画の幅は現地測量に基づく今後の設計により若干の変動が生じます。  
目安としてご覧ください。



にいがたeマップ

Q2. 用地補償と工事着手、開通の目途はいつ頃か？

- A. 用地取得、埋蔵文化財調査など、**年単位での変動が大きい**ため、**開通の目途は立っていません**。  
用地補償に向けた次回の説明会(設計説明会)までの概略的なスケジュールは以下のとおりです。



開通までの主なスケジュール

### Q3. 人口減少で交通量が減っているのに道路整備を行う必要性はあるのか？

- A. 人口が減少したとしても**防災機能**は重要で、今後のまちづくりには欠かせません。人口が減っているからこそ、新潟バイパスからのアクセス性向上は、まちの再生・活性化につながると考えます。また、**交通量は将来予測に基づいた推計を行い、第三者委員会でも事業の必要性を確認**しています。

### Q4. 用地補償はどこまでの範囲が対象か？

- A. 用地補償の範囲は**道路にかかる分だけが原則で、立木や物置等も対象**になります。今後の測量・設計を踏まえて、所定のルールに基づいて個別に対応させていただきます。

### Q5. 工事の騒音・振動に対する補償はどうなるのか？

- A. 影響がある範囲については家屋の状況調査を行います。万が一、振動でひびが入った場合は申し出いただき、**因果関係を整理した上で補償**させていただきます。工事説明会等で説明いたします。

### Q6. 立体道路で日照が遮られたり、交通による排気ガス・騒音の補償はあるのか？

- A. 立体道路の脇に地表道路や歩道のある区間では、住宅までの距離があるため可能性は低いですが、事業の影響で**日照妨害が発生した場合は補償対象**となります。また立体道路は交差点での車両ストップが無くなる分、**排気ガスや騒音は現在より改善**される見込みですが、調査の上で**所定の基準値以上になる場合は、遮音壁**等での対応を考えています。

### Q7. 地表道路の交差点位置やピアBandaiはどうなるのか？

- A. 交差点の詳細な**位置は未定のため、設計説明会で説明**します。また、計画ではピアBandaiの駐車場に橋脚が建ち、その上に立体道路が通る予定です。今後、**事業主体の国交省と関係機関、ピアBandaiと合同で話し合い**を進めていきます。

### Q8. 万代町から沼垂へ向かう方向で、立体道路の出入口を作れないか？

- A. 計画では立体道路の出入口は「栗ノ木橋交差点～JR間」と「柳都大橋」を予定しています。出入口の位置・構造等は、**設計説明会で地域のご要望をお聞きしながら修正**していく予定です。

### Q9. 立体道路を大地震が来た時の避難場所にできないか？

- A. 東日本大震災など、設置した津波避難用階段で高さのある道路に一時避難された事例もあります。今後、設置の検討を行う予定です。

### Q10. 側道が無電柱化するのであれば、蒲原まつりの露店の電源確保をお願いしたい。

- A. 蒲原まつりの電源確保については、今後関係機関と調整します。

### Q11. 西堀～日本銀行の前までの区間の計画を事業化する見通しはあるのか？

- A. **現時点でいつ事業化するかは未定**です。今後の交通状況等を見ながら検討します。

#### その他 頂いた ご意見

- ① 生活再建に向けて、沼垂にも相談窓口を設け、早く設計説明会を開催してもらいたい。
- ② 現在ある交差点は地表道路の整備後も残し、地域住民も使いやすい道路にしてほしい。
- ③ 緑地帯の維持管理や歩道の除雪は大変なため、一工夫してもらいたい。

# ばんだいじま 万代島ルート線の概要

- 万代島ルート線は、新潟バイパス紫竹山ICから中央区寄居町よりいちょうに至る全長約5.6kmの都市計画道路です。
- 平成4年(1992)に都市計画決定され、高速道路や新潟バイパスといった東西方向を結ぶ道路と新潟市中心部を南北方向に結びます。
- 平成14年(2002)～平成26年(2014)に柳都大橋を含む1.5km区間が先行して開通し、現在、国道7号栗ノ木バイパスで栗ノ木道路と紫竹山道路の整備を進めています。
- 令和4年に柳都大橋と栗ノ木バイパス区間を立体道路※で結ぶ沼垂道路が事業化されました。  
※立体道路:新潟バイパスのような道路のことを指します。

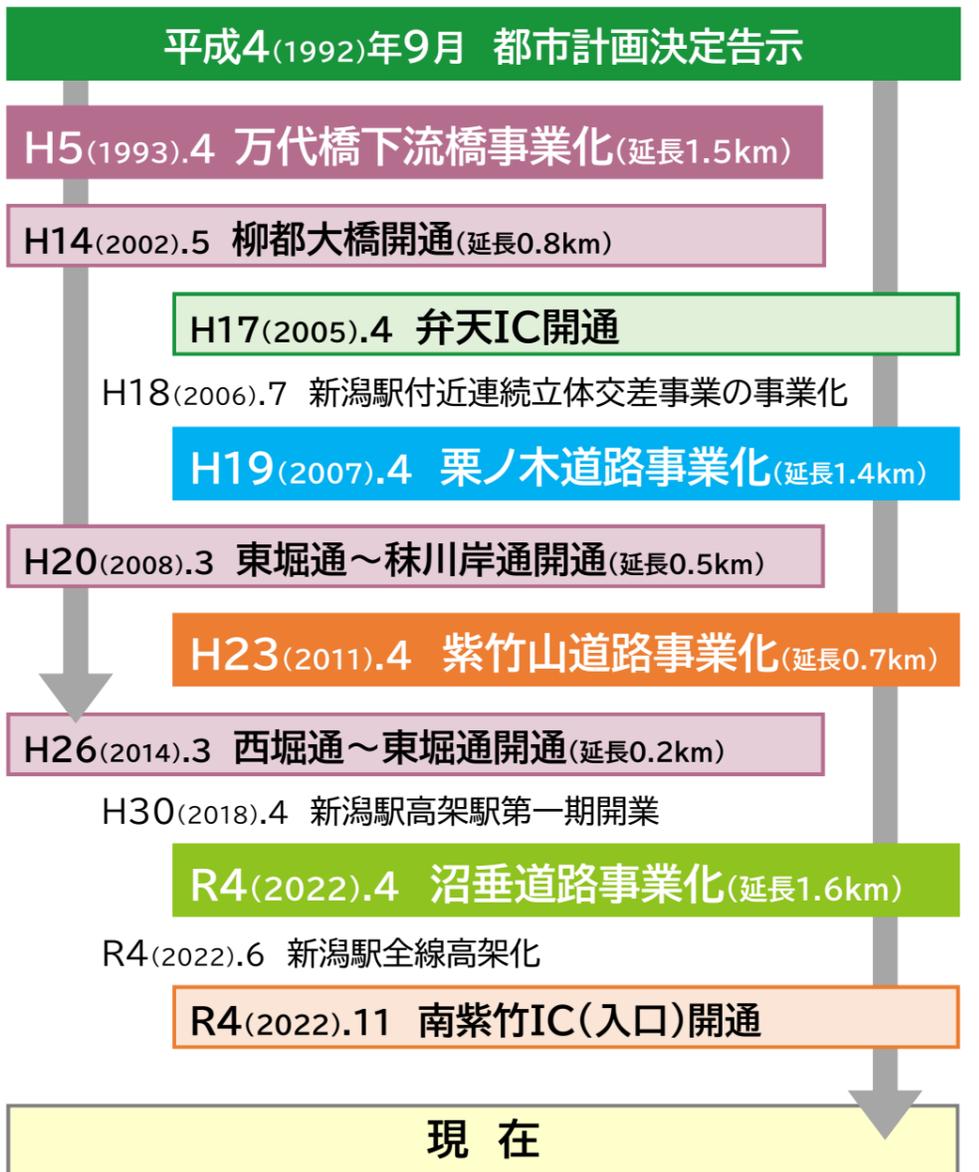
## 完成イメージ



## 位置図

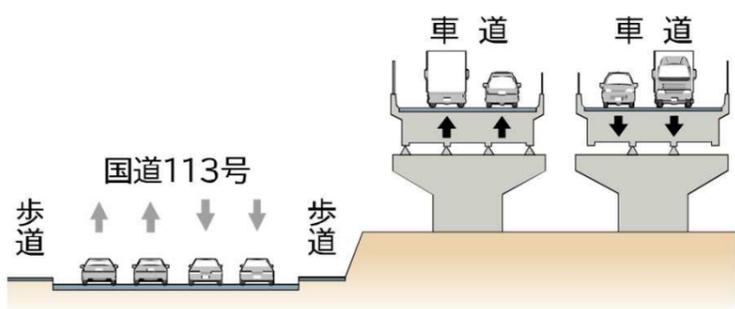


## 万代島ルート線計画における現在までの流れ



## 標準断面イメージ

例:国道113号(東港線)並行区間



例:笹越橋～紫竹山交差点

